東京電話 (廿九日)

▲歐洲大戰亂

△獨艦の露佛艦撃沈 海軍省発電、前報に引続き英国巡艦四隻を撃沈したる獨艦エムデン號は二十八日又々仏領印度洋マドラス沖にて英国巡洋艦ペンチュラ号を撃沈したり

△英軍獨軍を撃退す ロイヤル紐育電報、當地着ロンドン電報によれば英軍はイプルより十五哩の地點まで獨軍を撃退したり

△英軍勝利別報 二十九日仏海軍由ロイヤル倫敦電報、ハーブル來電に曰く、白耳義公報によればニウポール及びゼークスムードに於ける陸地は聯合軍により保持せられつゝあり英軍はイプルの北方ヤルメートルの地點に於てバスチエンテールに前進せり

△戰爭に非ずして虐殺 ロイヤル紐育電報、獨逸軍の報告は北海沿岸の激戰を以て寧ろ是れ虐殺なりと稱せり

△巴威皇太子負傷 ロイヤル紐育電報、獨逸軍を指揮せるバエルン國皇太子は戰場に於て負傷したり

△英帝從弟戰死 ロイヤル倫敦電報、聯合軍に參加しつゝありしクランベル大佐の從弟は獨逸の戰鬪に於て戰死せり同大佐は海軍の從弟に當れり

△米國東海岸の砲聲 紐育電報、無線電信によれば曰く十二月二十六日東部ヴァヂニヤ沖に於ける砲聲を聞けり或は海戰なるべし察せらる

△十國獨艦逃げ歸る ロイヤル倫敦電報、獨に黑海に於ける露國艦隊は獨逸ボスフォラスを潜入しつゝありしが露國及びブレスラウの二艦は急遽ボスフォラスに逃れたるに英佛三國艦隊は土耳其政府に對し該二艦は武装に土耳其に對却せられたるものと認めざるを以て英佛露の艦隊は出遊し次第之を攻撃すべしと通告したるが露國は

△エピルス動亂重大 ロイヤル倫敦電報、希臘政府は二十六日英佛の無政府狀態に艦隊の國境を封鎖し伊國艦隊は二十五日バロナに到着し地方官憲に協力してエピルス運動に干渉したり

△佛軍アンゴラ侵入 リオン來電に曰く、佛軍はアンゴラに侵入せり

△獨軍死者一万六千 二十八日發ユナイテッドプレス通信電報、ベルリン來電によれば獨軍の戰線は遠延し聯合軍は獨逸の西部戰線に於ける獨軍の損害二萬を出して退却せり聯合軍側の損害は未だ詳しならず戰鬪は依然繼續せられつゝあり

△聯合軍主力前進 ユナイテッドプレス發通信電報、聯合軍は獨逸の西部戰線に於ける獨軍の主張せる如く敗北せるにあらず

△加奈陀募兵好況 ロンドン電報、第二加奈陀軍隊は既に佛蘭西に達せり

△佛軍獨軍の撃退 ロイヤル倫敦電報、獨逸軍は佛蘭西に於て撃退せられたるが獨逸軍は佛蘭西に於ける

極東の戰局

△不埒なる支那政府 北京電報、支那政府は青島攻撃に關し日本の交渉を無視せるが故に日本は獨逸代理人の撤去を要求せり

△支那損害恢復計畫 北京電報、支那政府は青島攻撃に關し日本の交渉を無視せるが故に日本は獨逸代理人の撤去を要求せり

△青嶋管理官は誰 青島陷落後支那に還付するまでは當分の間日本の管理官の任に當るべしと

△廣東の賭博公許 上海電報、廣東省に於ては幾多の賭博場を設置することを公許し北京政府の是認したる右は賭博稅を以て省財政に充つる爲なりと

△鮮銀總裁任命 市原朝鮮總督は二十八日を以て任命せられたり

△支那人採用 支那人の獨逸代理人の抗議は全部之を採用し各種組織に於ける獨逸代理人の抗議は全部之を採用し各種組織に於ける獨逸代理人の抗議は全部之を採用し各種組織に於ける